

常に未来の一步先を行く

日本は世界で最も発明力のある国の一つです。最新のグローバル・イノベーション・インデックス（GII）によると、日本はGDP（PPP）10億当りに最も多くの特許ファミリーを出願しており、研究開発に費やされるGDPの割合では第5位にランクされています。

イノベーションを絶え間なく追求する日本企業は、ダイナミックな投資環境、世界的に調和された法制度、新しいテクノロジーやビジネスモデルへのサンドボックスアプローチを背景に、海外投資家に開かれた生きた機会を絶え間なく生み出しています。

Statistaによると、日本の建設産業は経済の中心的な柱であり、GDPの約5%を生み出しています。需要は過去10年間、主に東日本大震災からの復興や東京2020オリンピックなどの大きなイベントに牽引されて堅調に推移しています。今後数年間、リニア中央新幹線などの日本の国家インフラプロジェクトのパイプラインや継続的な防災事業により、高い需要が維持されるでしょう。デロイトによると、日本の建設業界は、国の主力ビジョンである「Society 5.0」ビジョンや脱炭素化の取り組みを実行する上でも極めて重要であり、土木工学や再生可能エネルギーのインフラにおいて多様な強みを持つ企業に前例のない機会を提供するということです。

1945年に設立されたICHIKAWAは、その歴史を広島への原爆投下直後に遡り、都市の復興活動において重要な役割を果たし、現在ではトップクラスの都市開発業者の1つとなっています。ICHIKAWAの災害復旧における豊かな歴史は、同社にサービスを完成させ、多様化させる十分な機会を提供してきました。

現在、その統合されたスキルセットは、土木工学と建設、都市エネルギーインフラ、工場生産を自動化するためのインダストリー 4.0 機器に及びます。土木・建築分野において、特に地方自治体にとってICHIKAWAの魅力は、幅広い対応力と進化し続ける街づくりに注力していることにあります。立体駐車場、エレベーター設備、屋上プールから、火力、原子力、水力、太陽光、風力といった電力インフラに至るまで、ICHIKAWA独自のノウハウを融合し、業界内で高い地位を築いています。

同社社長の市川二郎氏は今後に向けて力強い成長を予想しています。「今後数年間で、特に東京で当社の二酸化炭素排出削減装置の注文がさらに増えると予想しています。」

また、ICHIKAWAは新築・既存ビルの空調などに向けた世界トップクラスのパワーモーター技術を開発してきました。同社の主力製品はLPMおよびVPMモーターで、磁石を利用してローターの損失をゼロに抑え、LPMおよびVPMあたりの年間二酸化炭素排出量を1トン削減し、世界で最も効率的なモーターとなっています。

ICHIKAWAのLPMおよびVPMモーターは、麻布台ヒルズ、六本木ヒルズ森タワー、日本テレビ塔、東京国際空港などの日本有数の建築物に加え、いくつかの半導体製造工場にも設置されています。

2013年に市川氏が父から社長を引き継いで以来、LPMやVPMなどの発明はICHIKAWAの糧となり、メーカーとしての会社の評判を再確認するという彼のビジョンと一致しています。「私が入社した当時は、『技術』商社としての仕事ではなく、単なる商社として見られていました。」

2018年に心機一転して顧客ベースを拡大するために社名を変更し、同時にエンジニアリング(ロボットシステムインテグレーターとHVACシステム)、トレーディング、自社製品の製造という現在の3つの柱を形成しました。」

市川氏はまた、移動式水生成車「We-Dash」と非常用発電車「E-Dash」という2つのイノベーションを通じて、ICHIKAWAの移動式災害復旧設備への取り組みを手掛けてきました。

前者は、被災地や避難所における真水の供給不足に対するICHIKAWAのソリューションであり、500人分の生活用水に相当する1日あたり2万リットルの真水を供給でき、普通自動車免許でも運転可能です。

一方、E-dashは、照明や空調、災害現場での臨時電源の確保など、幅広い用途に60KVAの電力を供給できる機動性の高い非常用電源です。

日本の都市コミュニティを豊かにするという使命の一環として、ICHIKAWAは2023年3月にE-Dash車両を広島県に寄贈し、現在日本中の地方自治体を通じて両方の車両を展開することに熱心に取り組んでいます。

日本での同社の成功を受けて、市川氏は、独自のテクノロジーとサービスに基づいてパートナーシップを築くことを視野に入れ、さらに遠く離れたビジネスチャンスに目を向けました。「私たちはメーカーだけでなく、いくつかの企業と多くの人脈と強い関係を持っているため、将来のパートナーが活用できる貴重な情報がたくさんあります。技術的なノウハウを持っているだけでなく、それを運用し、提供する能力も持っています。」

日本が気候変動関連問題をどのように解決しているかに世界的な関心が集まっている現在、ICHIKAWAの世界をリードするイノベーション能力は実証済みであり、理想的なパートナーとなっています。実際、ICHIKAWAは、広島が製造業の中心地として成長する過程と密接に関係していることで、最大の課題を革新、成長、リーダーシップのための比類のない機会に変える、日本の回復力の精神を定義しています。